

出任せ？オンライントーク

4月26日(日)、富ヶ谷教室において、全国の会員様や一般の方々を含めて、映像授業をご視聴頂きながら、一緒に呼吸書法の実践をしようという企画に、沢山のご参加を頂き、感動でした。

新型コロナウイルスの感染防止のための全国的な集会の自粛に応じて、光輝書法会も4月は、全ての教室を閉鎖いたしました。

ところが、今年の壁掛けカレンダーの3・4月の絵が示していたのは、人間の心の曇り・汚れを、神(ゴッド＝ゴールド)の金の光で消すという意図である事に気付きました。そこでハツと思い出されたのが、国難に際して国中の神社仏閣で唱えるという護国三部経の一つ「金光明最勝王経」、正に「金の明るい光の最も優れていることを述べている経文」の中に「いろは」があったということです。新型コロナウイルスの感染拡大を国難と捉えるなら、これを終息するためには、言霊的に最も優れている「いろは・ひふみ」を呼吸書法の実習と共に発声すれば、宇宙空間と大地と人心を浄化することで、このウイルスが消えるであろうと、この企画を思い付いたのです。

光輝書法会を支えている「愉快的仲間たち」の若者にこのことを伝えようと、即、「今月のオンラインで実施し、今回は無料で公開しましょう!!」と言うことになったのです。

前半は、建島女史と山本のトーク、後半の実習を皆さんと一緒に行うことで、多くの参加者の声が、愛の祈りとして宇宙空間に響き渡り、日本はおろか全世界を浄化・活性化することは間違いないと確信しました。

そして、申し込み締め切りの2分前に一名の参加申し込みがあった事で、奇跡とも思え

る**168名**が参加される事になったのです。

ご存知のようにこの数字は(いろは)と読みます。偶然かも知れませんが、日ごろからあまり感情を面に表さない建島女史も、驚きを隠せないように、山本に至っては「うわーっ!」と天井まで飛び上がりそんな感動で、「天も認め、応援してください!」という感謝の想いで一杯になりました。

二人の会話の初めは、堀田医学博士よりのコロナウイルスに対する心構えなどのレポートの朗読から始まり、日々是口述の紹介、コロナウイルスの発生の意味、百匹目の猿現象の科学的意味、どうしたら光の書が書けるようになるのか、その心のあり方が超意識といえるものではないか、などなど。

そして、山本の人の名前を詠み込んだ俳句、「開命句」には陰陽の二種類があるという話から、突然建島女史に「新型コロナウイルスにも陰陽の二面性があり、陰の働きが強いと肺炎を起こし、時に重症化する。」と天啓の言葉が降りて来ました。一方、「陽の面は人類への救いとして働く。行き過ぎた文化文明、拝金拝物の欲望と、自己愛中心の人心の荒廃への警鐘。医療崩壊まで見せる事で、薬漬けの医学への戒告を示し、改革を示唆している。」という説明の時、外ではもの凄い竜巻のような突風が吹いたのです。まさに神風と共に龍神様のお出ましで、建島女史が言われたことを「よしよし」とご承認されたことを教えられたと思いました。

故に、「ウイルス(波動)に感染(共鳴)しないようにするには、陽の波動をもつて日々を生き、隣人への愛の心と、何事にも感謝の高い波動の想いを持って接すれば、陽ウイルスは味方となって人を守る」とも考えられるのであります。(山本の出任せ)

今月はさらに皆様の愛の祈りと呼吸書法のいろは・ひふみの響きを発して、世界に健康と平和とを広げていきましょう